

19 きつ^{おん}音^でが出^{はな}にくい^{かた}話し方

(1) ゆっくり^{はな}話す

とく 特に、はじめの^{おと}音^{はな}をゆっくり話す

(例) 「ほくは きのう おすしを たべた」

→ 「ほーくは きのう おすしを たべた」

少し、ゆっくりめに

(2) はじめの^{おと}音^だをそっと、やわらかく^だ出す

はじめの^{おと}音^だを出す時に、のどや口^{くち}をそっと、やわらかく^{うご}動かす。のどや口^{くち}に力^{ちから}をあまり入れない。のどや口^{くち}をはっきり、ていねいに^{うご}動かす。「あ」、「い」、「う」、「え」、「お」の口^{くち}の形^{かたち}に気^きをつける。

(例) 「ほくは きのう おすしを たべた」

→ 「ほおーくは きのう おすしを たべた」

そっと、やわらかく



「あ」

「い」

「う」

「え」

「お」

(3) はじめの音^{おと}を、くり返^{かえ}したり、のぼ^{のぼ}したりする

はじめの音^{おと}を1～2回軽^{かいかる}くり返^{かえ}す。あるいは、はじめの音^{おと}を少し^{すこ}伸ばす。

(例) 「ぼくは きのう おすしを たべた」

→ 「ぼ、ぼくは きのう おすしを たべた」

1～2回、軽^{かいかる}くり返^{かえ}して

→ 「ぼ—くは きのう おすしを たべた」

少し^{すこ}の^の伸ば^{のぼ}して

(4) 少し^{すこ}待^まってから話^{はな}す

緊張^{きんちよう}した状態^{じようたい}が和^{やわ}らいでから話^{はな}す。のどや口^{くち}、体^{からだ}を楽^{らく}にしてから話^{はな}す。

(例) 「ぼくは きのう おすしを たべた」

→ 「ぼ……ぼくは きのう おすしを たべた」

少し^{すこ}待^まってから